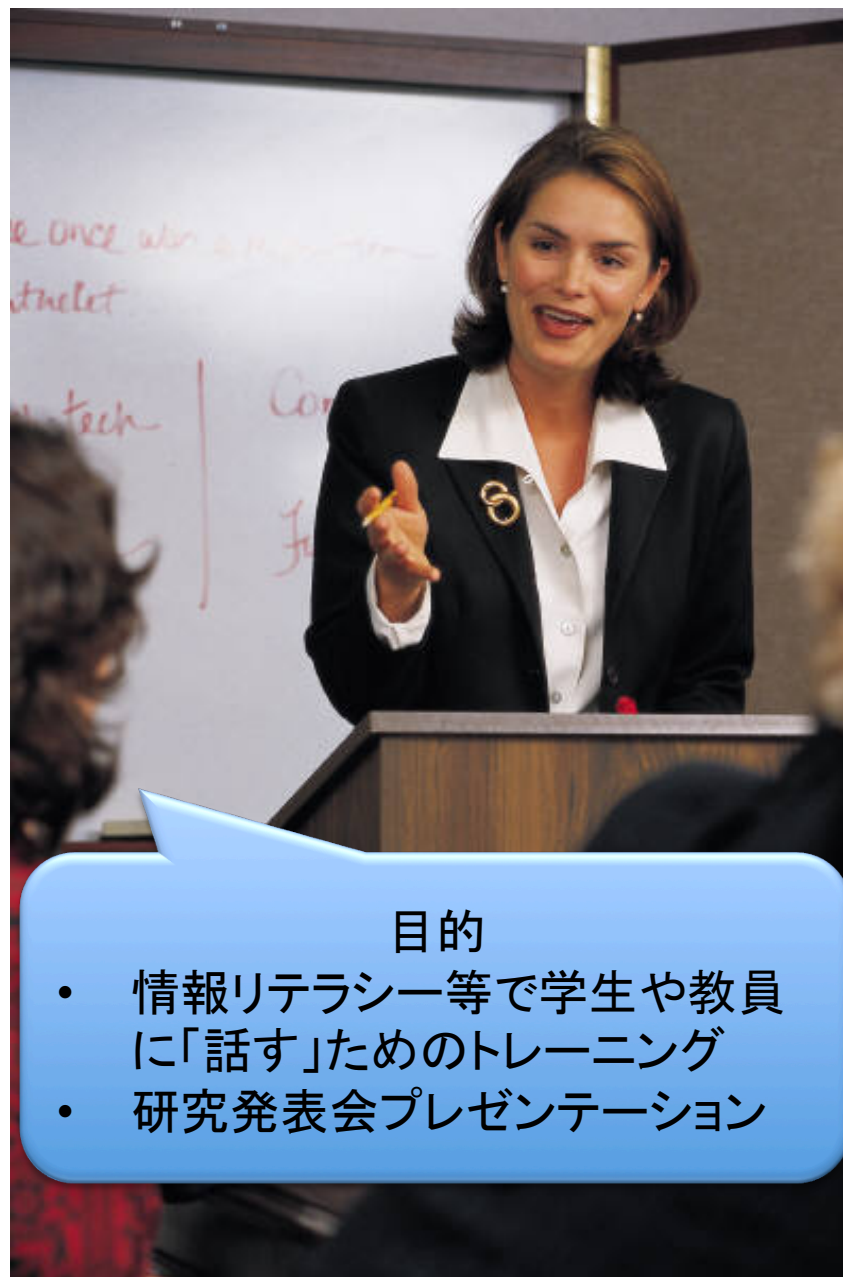


パブリック・ スピーチの ポイント

1. 「話し言葉」で伝える
2つの要素
2. 「音の言葉」の特性
3. スピーチと会話の違い
4. 情報が伝わるには
5. まとめ



目的

- 情報リテラシー等で学生や教員に「話す」ためのトレーニング
- 研究発表会プレゼンテーション

「話し言葉」で伝える2つの要素

音で伝える

- 不安定ですぐに消える
- 見えない
- 聞き違いがおこりやすい
- スピード、高低による違い



話し手と聞き手

- 知識や経験が異なる
- 理解度が異なる
- 考え方が異なる



「音の言葉」の特性

すぐに消える

印象に残るように話す

順に出てくる

先が見えるように話す

紛らわしい表現

区別がつくように話す

早さの要素

伝わるように話す

スピーチと会話の違い

プレゼンテーション・スピーチ

話し手



聞き手



一方通行

話し手の自己完結

→ **理解度**を確認しながら話す

スピーチ文に変えるには...

大学図書館が提供する学術情報は従前の図書・雑誌だけでなくデジタル化、ネットワーク化によって多様化し、大学図書館の機能もデジタル情報源の作成あるいは提供など高度化が期待されている。しかしながら、ここ数年、大学図書館が置かれている状況は、少子化に伴う大学経営の危機感から、図書費や図書館運営費が抑制あるいはカットされる傾向にあり、さらには人件費を削減する政策が顕著にみられる。この結果、各大学図書館での学術情報の基盤整備（資料整理等）が弱体化し、また、アウトソーシング導入や人事異動が頻繁に行われる結果、専門的知識を必要とするはずの職員数が著しく減少するに至っている。

(後略)

NPO法人大学図書館支援機構設立趣旨書

NPO事業の必要性

考えを図解

高度デジタル化社会における大学図書館

メディアが多様化

資料の電子化

WEB情報の氾濫

より一層要求されるもの

組織化に関する専門知識

情報リテラシーに関する専門知識

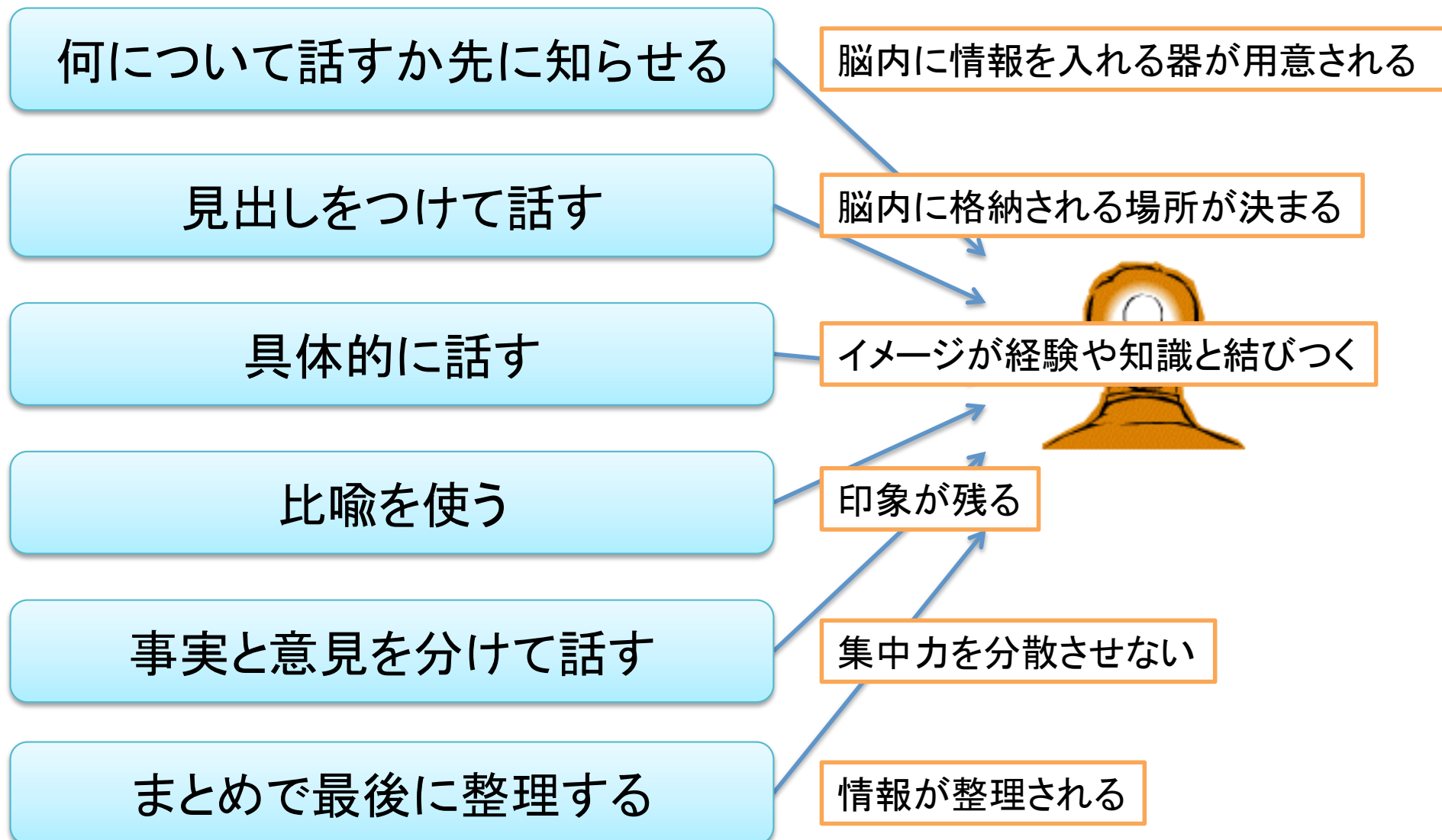
各組織内でその獲得・継承が困難になっている要因

人員削減

アウトソーシング

人事交流

情報が伝わるには



まとめ

- 聞き手が主役
 - 聞き手の関心、知識に合わせ、「分かる」ことが大事
 - 聞きたい気持ちを引き出す
- 考えて言葉を投げかける
 - 読んではだめ
 - 聞き手に伝えたい気持ち
- ねらい、テーマを明確に
 - 要約力を磨く
 - 見出しをつける
- プレゼンテーションはプレゼント
 - 印象が勝負
 - ノンバーバルコミュニケーションの比重

